



さんびょう 三錨Ⅷ

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 4

令和元年 5月22日

新緑の美しい季節となりました。中庭のイチョウも緑の衣をまとい、見ているだけで元気をもらいます。さて、10 連休や家庭訪問期間も終わり、通常の学校生活にもどりました。この季節は学習するにも、運動するにも適切な時期です。

子どもたちが授業に取り組む姿や休み時間の様子を写真で、紹介いたします。

◇日常の学校

授業の様子



休み時間

運動場ではドッジボール、サッカーが人気



テストに真剣に取り組んでいます

予鈴で教室にすばやくもどれます

◇交通事故防止について(子どもたちを交通事故から守るために)

本校は国道 1 号線等、非常に交通集中する道路を校区内に持つ学校です。交通事故防止への指導は、継続的に行っています。

登下校時等は見守りボランティアさんたちの支援もいただいておりますが、放課後や休日に子どもたちだけで、道路横断の機会もあると思います。これからも繰り返し指導をしていきますが、ご家庭でも、子どもたちにお話ををお願いします。

○交差点付近で待機する際は、車道からできる限り離れて待つこと

○歩行者信号が青でも、車が完全に停止したことを確認してから渡ること

○横断中に向かってくる車の姿が見えたら、無理に渡ろうとしないこと

○前の友達が横断していたとしても、自分の目で必ず確かめるようにすること



◇新体力テスト

今年も、新体力テストの時期になりました。

テストは例年通り、8種目。「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」です。本校では、全学年が全種目に取り組みます。

本校の傾向や強み弱みを明らかにし、体育や体力向上の取組に生かすようにしていきます。

保健室前には写真のような子どもたちの自主的な取組を促す掲示物を張って、事前指導も行っています。



握力についての掲示



◇教職員の総勤務時間縮減の取組について

現在、国でも話題になっています「働き方改革」については、教職員も例外ではなく、三重県教育委員会及び四日市市教育委員会からも常態化している教職員の長時間にわたる時間外労働を見直し、総勤務時間縮減に向けた取組の推進を求められています。

三重県教育委員会からの文書抜粋

・「教職員が働きやすい環境づくり」を推進し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保し、心身にわたる健康を維持することにより、教育活動に意欲的に取り組めるようにすべての公立学校で統一した取り組みを進めます。

四日市市教育委員会の取組

・本年度学校業務アシスタント1名が配属され、教材やプリントの印刷等、教員が行っていた業務の一部を請け負ってもらっています。この縮減できた時間は、教室等で子どもたちと向き合う時間増につながっています。

・長期休業中を中心とした学校休校日の設定

令和元年8月13日～16日 12月27日（土日も同様です）

本校の取組

- ・それぞれの職員は、毎週1回程度を定時退校日として、定時退校に努めます。
- ・学校全体としても、月ごとに定時退校日を設定し、定時退校に努めます。

教職員が健康で、意欲的に教育活動に取り組めるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

・来年度（令和2年度）使用教科書の展示会を（教育委員会主催）本校講堂にて行います。よろしければ自由にご覧ください。



日時 令和元年6月4日（火）～7日（金）9時～16時30分

場所 本校講堂